

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第1区分

【発行日】令和2年12月24日(2020.12.24)

【公開番号】特開2020-121920(P2020-121920A)

【公開日】令和2年8月13日(2020.8.13)

【年通号数】公開・登録公報2020-032

【出願番号】特願2020-73228(P2020-73228)

【国際特許分類】

C 03 C	3/091	(2006.01)
C 03 C	3/095	(2006.01)
C 03 C	3/087	(2006.01)
C 03 C	3/085	(2006.01)
G 11 B	5/73	(2006.01)
G 11 B	17/038	(2006.01)

【F I】

C 03 C	3/091
C 03 C	3/095
C 03 C	3/087
C 03 C	3/085
G 11 B	5/73
G 11 B	17/038

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月12日(2020.11.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

モル%表示にて、

S i O₂ の含有量が5.2 ~ 6.8 %、

A l₂ O₃ の含有量が 5 ~ 20 %、

S i O₂ と A l₂ O₃ の合計含有量 (S i O₂ + A l₂ O₃) が 6.0 ~ 8.0 %、

B₂ O₃ の含有量が 0 ~ 5 %、

M g O の含有量が 3 ~ 28 %、

C a O の含有量が 0 ~ 18 %、

T i O₂ の含有量が 0 ~ 5 %、

B a O および S r O の合計含有量 (B a O + S r O) が 0 ~ 2 %、

アルカリ土類金属酸化物の合計含有量 (M g O + C a O + S r O + B a O) が 1.2 ~ 3.0 %、

アルカリ金属酸化物の合計含有量 (L i₂ O + N a₂ O + K₂ O) が 3.5 ~ 1.1 %、
であり、

S n 酸化物およびC e 酸化物からなる群から選ばれる少なくとも一種を含み、S n 酸化物
およびC e 酸化物の合計含有量が 0.05 ~ 2.00 % であり、

ガラス転移温度が 625 以上、

ヤング率が 83 GPa 以上、

比重が 2.85 以下、かつ

100～300における平均線膨張係数が $48 \times 10^{-7}/$ 以上である非晶質の酸化物ガラスである磁気記録媒体基板用または磁気記録再生装置用ガラススペーサ用のガラス。

【請求項2】

Li_2O の含有量が0～8モル%、
 Na_2O の含有量が0～10モル%、かつ
 K_2O の含有量が0～5モル%である、請求項1に記載のガラス。

【請求項3】

Sr 酸化物および Ce 酸化物を含有する、請求項1または2に記載のガラス。

【請求項4】

アルカリ土類金属酸化物の合計含有量に対する MgO および CaO の合計含有量のモル比 $\{(\text{MgO} + \text{CaO}) / (\text{MgO} + \text{CaO} + \text{SrO} + \text{BaO})\}$ が0.75～1.00である、請求項1～3のいずれか1項に記載のガラス。

【請求項5】

請求項1～4のいずれか1項に記載のガラスからなる磁気記録媒体基板。

【請求項6】

請求項5に記載の磁気記録媒体基板上に磁気記録層を有する磁気記録媒体。

【請求項7】

請求項1～4のいずれか1項に記載のガラスからなる磁気記録再生装置用ガラススペーサ。

【請求項8】

請求項6に記載の磁気記録媒体および請求項7に記載の磁気記録再生装置用ガラススペーサの少なくとも一方を含む磁気記録再生装置。